



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 北陸電気工業株式会社
 コード番号 6989 URL <http://www.hdk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部次長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 津田信治
 (氏名) 林 良徳

TEL 076-467-1111

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,739	12.7	51	△82.0	139	74.2	6	△94.6
25年3月期第2四半期	20,175	1.6	284	—	80	—	118	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 786百万円 (183.0%) 25年3月期第2四半期 277百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.08	—
25年3月期第2四半期	1.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	36,293	11,700	30.3	130.84
25年3月期	36,124	11,170	29.2	125.55

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,983百万円 25年3月期 10,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△0.1	700	67.1	600	△0.2	500	6.3	5.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年11月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	92,500,996 株	25年3月期	92,500,996 株
26年3月期2Q	8,551,821 株	25年3月期	8,503,471 株
26年3月期2Q	83,986,319 株	25年3月期2Q	86,665,413 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国では緩やかな回復基調が続いたものの、中国など新興国における経済成長率の鈍化を主因に、先行き不透明な状況で推移しました。

わが国におきましても、個人消費や輸出が持ち直しに向かったものの、景気回復は緩やかなものとなりました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、自動車関連需要が堅調に推移し、スマートフォンやタブレットなど携帯情報端末需要の拡大も持続しましたが、薄型テレビやパソコンの需要低迷が続きました。

こうした状況のなかで、当社グループは、各品種総じて受注が振るわず、生産が停滞したことから、引続き全般的なコストの削減に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は円安に伴い22,739百万円（前年同期比+12.7%）となりましたが、損益面につきましては、営業利益51百万円（前年同期比△82.0%）、経常利益139百万円（前年同期比+74.2%）、四半期純利益6百万円（前年同期比△94.6%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①電子部品

電子部品は、各品種総じて受注が停滞し、全般的なコストの削減に努めました。その結果、売上高は円安に伴い20,282百万円（前年同期比+16.3%）となりましたが、生産量の低下を主因に、営業利益480百万円（前年同期比△32.1%）となりました。

②金型・機械設備

金型・機械設備は、前年度第2四半期以降営業赤字が続き、前年度末にかけて一部事業所の閉鎖を実施いたしました。これにより、当四半期は、売上高428百万円（前年同期比△26.9%）、営業利益35百万円（前年同期比+4,169.1%）となりました。

③その他

その他は、商品仕入及び不動産業等にかかる事業であり、売上高2,171百万円（前年同期比△4.1%）、営業利益44百万円（前年同期比△27.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、現預金が減少したものの、生産の回復に伴い、売上債権とたな卸資産が増加したことを主因に、168百万円の増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ、有利子負債を主体に、360百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、四半期純利益により6百万円増加し、配当金の支払いにより251百万円減少しましたが、円安に伴い為替換算調整勘定が623百万円増加したことなどから、529百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日に公表いたしました当年度の業績予想につきまして修正いたしました。

当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成25年11月8日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。また、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,169	4,561
受取手形及び売掛金	8,307	9,713
商品及び製品	1,334	1,479
仕掛品	2,487	2,830
原材料及び貯蔵品	1,268	1,405
繰延税金資産	450	455
その他	997	694
貸倒引当金	△5	△17
流動資産合計	21,009	21,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,304	3,294
機械装置及び運搬具（純額）	4,655	4,744
土地	2,939	2,920
その他（純額）	360	370
有形固定資産合計	11,259	11,329
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,419	1,464
繰延税金資産	1,338	1,290
その他	1,211	1,302
貸倒引当金	△502	△567
投資その他の資産合計	3,466	3,490
固定資産合計	15,115	15,169
資産合計	36,124	36,293

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,562	10,090
短期借入金	4,107	3,779
未払法人税等	159	122
賞与引当金	215	294
その他	1,069	1,047
流動負債合計	15,113	15,335
固定負債		
長期借入金	4,765	4,096
再評価に係る繰延税金負債	386	383
退職給付引当金	3,770	3,881
その他	919	896
固定負債合計	9,840	9,257
負債合計	24,954	24,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,200	5,200
資本剰余金	5,360	5,108
利益剰余金	830	840
自己株式	△1,116	△1,123
株主資本合計	10,273	10,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	144
繰延ヘッジ損益	△6	△3
土地再評価差額金	643	639
為替換算調整勘定	△447	176
その他の包括利益累計額合計	272	957
少数株主持分	624	716
純資産合計	11,170	11,700
負債純資産合計	36,124	36,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	20,175	22,739
売上原価	17,515	20,178
売上総利益	2,659	2,561
販売費及び一般管理費	2,375	2,510
営業利益	284	51
営業外収益		
受取利息	20	27
受取配当金	16	16
雇用調整助成金	38	54
為替差益	—	13
デリバティブ評価益	2	100
その他	60	55
営業外収益合計	138	268
営業外費用		
支払利息	79	62
休業費用	40	80
為替差損	143	—
その他	78	36
営業外費用合計	342	179
経常利益	80	139
特別利益		
固定資産売却益	10	0
保険差益	467	—
受取補償金	183	—
投資有価証券売却益	0	12
その他	6	7
特別利益合計	667	20
特別損失		
減損損失	3	6
固定資産売却損	0	14
固定資産除却損	4	8
投資有価証券評価損	354	1
たな卸資産評価損	—	42
移転費用	44	—
その他	4	11
特別損失合計	411	83
税金等調整前四半期純利益	335	75
法人税等	163	76
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	172	△0
少数株主利益又は少数株主損失(△)	53	△6
四半期純利益	118	6

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	172	△0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166	63
繰延ヘッジ損益	3	3
為替換算調整勘定	△64	720
その他の包括利益合計	105	786
四半期包括利益	277	786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228	696
少数株主に係る四半期包括利益	49	89

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	335	75
減価償却費	671	783
減損損失	3	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	76
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	79
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	133	110
受取利息及び受取配当金	△36	△43
支払利息	79	62
為替差損益 (△は益)	18	9
固定資産売却損益 (△は益)	△10	13
固定資産除却損	4	8
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	△9
投資有価証券評価損益 (△は益)	354	1
雇用調整助成金	△38	△54
保険差益	△467	—
受取補償金	△183	—
休業費用	40	80
移転費用	44	—
デリバティブ評価損益 (△は益)	△2	△100
たな卸資産評価損	—	42
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,319	△956
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△308	△392
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,437	212
その他	0	△285
小計	771	△280
利息及び配当金の受取額	36	43
利息の支払額	△83	△63
法人税等の支払額	△52	△96
保険金の受取額	968	—
損害賠償金の支払額	△66	—
雇用調整助成金の受取額	38	54
休業費用の支払額	△43	△80
補償金の受取額	91	51
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,660	△370
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,355	△362
固定資産の売却による収入	6	93
投資有価証券の取得による支出	△21	△11
投資有価証券の売却による収入	21	74
貸付金の回収による収入	4	3
定期預金の純増減額 (△は増加)	133	60
その他	△33	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,244	△171

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,452	43
長期借入れによる収入	—	510
長期借入金の返済による支出	△2,236	△1,578
リース債務の返済による支出	△73	△24
自己株式の取得による支出	△425	△6
配当金の支払額	△266	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△549	△1,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	317
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△189	△1,533
現金及び現金同等物の期首残高	3,939	5,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,750	3,510

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,441	536	17,978	2,197	20,175	—	20,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	50	50	67	117	△117	—
計	17,441	586	18,028	2,264	20,293	△117	20,175
セグメント利益又は損失 (△)	707	0	707	61	769	△484	284

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(㈱大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。

2. セグメント利益の調整額△484百万円には、セグメント間取引消去38百万円、のれんの償却額△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△518百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,282	357	20,639	2,100	22,739	—	22,739
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	71	71	70	142	△142	—
計	20,282	428	20,710	2,171	22,882	△142	22,739
セグメント利益又は損失 (△)	480	35	515	44	559	△508	51

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(㈱大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。

2. セグメント利益の調整額△508百万円には、セグメント間取引消去36百万円、のれんの償却額△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△539百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。